

No.97 泉南走ろう会

連絡先 泉南スポーツ社
0724(83)4653

神鍋マラソン大会に

参加して思う

会長 遠健三

いやあーとんでもない大会でした。またしてもこの大会に不参加は正解であったか、賢明であったか、参加申し込みながら、中止を待たず参加出来なかった。Iさんはどのように思っておられるのか、今も、私には分らない。多分、正解であったか、賢明であったかと思っておられると思いますが、しかし、彼は午後八時 宿舍の「神鍋屋」に参加出来た。こうこう、こうう理由が出来ないと電話があった時は彼は「悲愴」「悲痛」なる声であった。私は「仕方がない。今回は諦めろ」となだめるのに必死であった。そうでしょう。今頃、電車もなにもない。どうして来られるのだ。諦めろと声を大にする。やと彼は「皆さんにどうぞようしくと声を小さくして電話を切る。

さあ、それからが大変。外が雨だ。明日も雨が、何んと言っても止む事がない。まあ仕方がない。飲もうと言つてビール、私が酒を飲む。ミウという時の主役、Iさんがおられないのは、非常に残念である。宇宙「経済」の話しに盛り上がりか

アけるラン友四名の方より「西瓜」「梨」を頂く。謝辞。それでも色々と言ひが出た。もう忘れてしまつて、心に残っているのは「この大会に参加するのには二万円かかる(結局一万七千円であったが)。二万円もかけて、ようこんな大会に参加する。二万円コースである。この事は今も忘れぬ。

さて、当日、皆さんが声あり「こう雨では、スタート直前にスタート位置に付き、ゴルフすばいそのまま、宿舍「神鍋屋」に来る。そうしよう(さう)と外に飛び出す。なんと台風十七号近畿上陸である。こなければ閉会式も閉会式もあつたものではない。カランドは、まさしく水田である。私はスタート位置前の方に着く。ゴゴと水は足もとに流れて来る。午前八時スタートする。雨雨、私は平気だ。全天候型にて、平素トレーニングをして、実際はそうではないですが、私は雨男で登山の時は雨が十のうち八まで雨で、何時のまにか、全天候型になつてしまつた。走っているうちに、アテウンスがあり、参加者二四〇名ほどの事。なんと好き者はおろか、だんあと思つて、横のオサンが「雨もまた、よろしいですな、暑くない、喉が渇けば、こうして飲めばいい」と、口を大きく上にあげる。唇が、オサンだ。そしてまだ言う「今日は参加賞の帽子、これはよろしいですな、皆帽子を着ているでしょう。調度間に合つた。今こんなにくれた事がないのに、この帽子がいい」と、こ

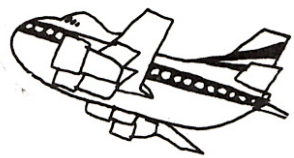
にこ走っている。こんなオサンと付合つておられない。頑張つて、前を走る。私は二時間をききる事が目標である。雨が止むまで降る。役員の方に、「お世話さん。応援の方に「有難うございませう」と言つて走る。それも一周目までであった。二周目をみると、もう駄目、ただもう、黙々と走る。あ、タペの酒は飲み過ぎた。これは失敗だ。今度から酒を少なにしても。そして、ビールを飲もうつてな事を考えながら走る。ラスト最後の下り坂を懸命に走る。水田の中、ゴルフはまさしく、水田だ。ゴールする。二時間を少しオーバーする。残念である。神鍋マラソンは終わった。走つた参加者は役員二人に帰り道有難うございませうと「お世話になりました」と来年の事を頼んで、人もいる。挨拶しながら帰つて、いたつは印象的でした。横の人は「オサン、頼んでいたが、こう雨では、弁当を食べる処もない。宿屋までまた走らねばならぬ。あなた宿は何処?」私は一番おたくや、まだ三キロ程走らねばならないと弁当持て走つて、人もおりました。こうなれば、荷物の置場所、更衣室もあつたかも知れないが、更衣室もかんの役も立たない。閉会式もない。中途半端な雨も、こんな雨の方がさっぱりする。それにして、もんでもないハズシグである台風の中心を走るとは、共に語いて、共に味わつたハズシグは貴重なる思い出である。一万七千円楽しかった。もと引いた。この声を聞いた時、私は大変うれしい。さて、不参加は正解であったか、賢明であったか、神鍋は終つた。心からは、来年のフルに

裏面に続く

備えて、ゆっくり走りましょう。

ニージランランド

未完走記



西田浩之

昨年、篠山に続いて、今年の篠山も故障(左足
 足底)のため断念せざるを得なかった。私は、走る
 ことに関しては悶々たる日々をおくっていた。そ
 んな時、雑誌「ランナーズ」を読んでいてこの企画
 が、あるのを知り、迷って、たゞ行けなくなると思
 い、五月末、ささく山へ込んだ。もちろん三日間
 で一五〇km、すなわち一日五〇kmを三日連続で走
 ることに對する不安はあった。それに加えて、一
 七日(新聞の)が大騒ぎしたあの日です)に足
 底を痛めて以来、まともに走っていないし、どうな
 るのだろうか、と思いつながら、六月と七月は暑
 い中、自分なりに頑張り、それぞれ約五〇km
 ぐらゐは走った。

八月四日、参加者二五名は成田空港に集合。ニ
 ージランランド・オークランドへ向けて出発した。オ
 ークランドから飛行機乗り継ぎで首都圏をリ
 ントン、そして南島最大の都市であるクラ
 イストチーナへ。そこで一泊し、いよいよ一五〇km
 へ向けてスタートである。

一日目、まさに「絵葉書の世界」を走って
 いる印象、気持ちよく、しかも、ゆっくりと、キ
 ロ八分くらいのペースで走る。グルーパは
 A B C の三グループに分け、A は別大マ
 ソン二時間三〇分で走ったとか、サロマ湖
 一〇〇キロkm マラソン女子の部二位とか、恐
 れしい人々ばかり。私たち七人はカメのよ
 うにゆっくり気持ちよく走っていた。予前
 中三〇km、昼食後二〇km という予定で、一
 日は二人を除いて、みんな程度の差こそあ
 り、余裕をもって完走したようだ。二人のう
 ち一人は残念ながら私である。三五km あ
 たりから右ヒザが左アキレス↓左足底
 ↓左ヒザと次々とおかしくなり、残り一五km
 は痛みと闘いながら、完歩をむげせせと
 歩く。日没も迫っている。もうやめよう、と
 何度も思ったが、添乗員でエイドステーション
 設営もかねてくれて、K氏の激励や、給
 水のためにこのツアーにわざわざ参加したO
 さんの声援で、周囲はすっかり暗くなってい
 たが、歩き切ることができた。

二日目、起きてみると、左アキレスけんは腫
 りており、無理とは思ったが、歩き出すこと
 にした。しかし、歩いていても速く歩けない。
 何キロ歩いたかわからないが、約二時間三〇分
 歩いてリタイアした。以後は、給水係にまわ
 った。ただ、その日に参加者の一人である、ハ
 リ・マサージの先生にしていた、いたマッ
 サージは三日目に効いた。

三日目、走りきると一五〇km 完走といふことで、み
 なさん張り切っているかと思いきや、そうではない。
 (ほとんど)の人が故障してのスタート、しかも天気
 は雨。同室のI氏は右足アキレスけん上部が
 腫れて、歩かすけりも痛いと言ひ、私と同
 じ職業のトさんも、今日は歩くしかないと言ひ
 独身最後の……というD氏は上半身筋肉痛
 で腕がふれないうか……。我々ランナーは
 こんなに故障してまでなぜ走るのか、変人た
 ちだな、と思いつつも、懸命に走る(歩い
 姿を見て、給水しながら、感極まるものがあつた。
 私は三日目も予前中は給水係をしていたが、
 午後ラスト20km だけは走る(歩く)つもり
 だった。午後スタート、ゆっくりと走り、は
 めたが、そこらじゅう痛みが走る、しかし走
 るのである。走ることにはこの時ほど喜びを覚え
 たことはない。夕暮れ迫るハンマースプリングスの
 町へみんなひた走る。私の場合、もちろん完走
 ではないが、ゴールテープを切らせても、カメラ
 さんのために、ゴールのやり直しまでさせられる。
 此方さん、本意にうれしそうに、あるいは泣き
 ながらゴールしていった。

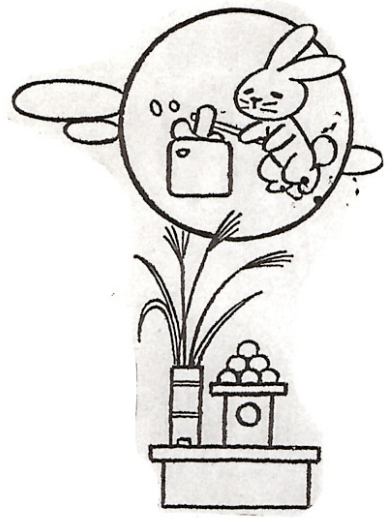
このように完走こそできなかったが、ニージ
 ランランド、スージー、オーストラリアとまわつた
 10日間の旅は楽しかった。シドニーでのサマ
 ナラパーティーで「来年こそは完走します」と
 調子のいい言ひをしました。来年のこのツアー、カ
 ナダで行なわれるそう。

「マラソン大会について」

神鍋高原マラソンが終了した。これで暑い夏も本当に終わったような気がします。

ここで一休みかと思いましたが十月、十一月からマラソンシーズンです。その中で次のマラソンに参加されては如何ですか。あ、忘れておりました。前号の機関紙に走ろう会恒例参加大会に、川西一庫ダムマラソン大会があります。その川西大会に皆さん、また連日行って下さい。このコースは會員の皆様に好評タイムが出ます。(距離が短いと遠いか)という声もあります。(私はそうは思いません)。

残暑さびしい折柄ですが健康に十分留意され、トレーニングに励んで下さい。それぞれのマラソン大会参加申込み期限が走ろう会事務局(泉南赤十字社)にあります。参加手続を行って下さい。



< マラソン大会 >

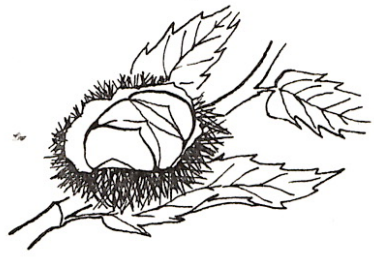
- (その1) 11月5日(日) オ7回 吉野川20km ロートレース
参加申込 9月30日まで 参加賞 2,000円
- (その2) 11月12日(日) 「三郷」100年記念信貴山登山マラソン大会
参加申込 10月12日まで、先着順500人、参加賞2,000円
この大会は今回が初めてであり、信貴山は標高427m、秋の紅葉は大変きれいだそうです。その山麓、標高差300mを初夏の新緑、秋の紅葉は、大変きれいだそうです。その山麓、標高差300mを上り、約3.5キロ下り、3キロも続く道を10キロ走る大会です。かなり過酷を承知で、健康のランナーが走れば、十分満足するコースだそうです。
- (その3) 11月23日(祝) 89. 川西一庫ダム 周遊マラソン
参加申込 9月20日～10月20日まで、参加賞2,000円
この大会は走ろう会恒例参加であり、参加方法は例年通り、後日の機関紙にてお知らせします。

お知らせ

一例会日 九月二十四日

午前九時 新家公民館

一、コース 皆と相談して決める



皆えの原稿をお送りして、います。気軽にお寄せ下さい。
編集係り